


「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人名	小池 純 先生 (飼育の達人)		
実施校	田原市立清田小学校		
実施日・時間	平成20年6月19日(木曜日)		
実施学級	3年(20名)	4年(20名)	合計対象人数 40人
授業の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 担任による達人の紹介。 2 私たちの世話の仕方や工夫を発表し、達人にアドバイスしてもらう。 3 これからやってみたいことを考える。 (10分休憩) 4 達人のお話を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、飼育の達人になったか。 ・達人の仕事と得意なこと(個体識別の能力) (パワーポイントで写真とともに紹介) (サルの写真を10枚提示し、それぞれの名前や特徴を言う。) ・動物を育てる上で一番大切なことは何か。 (クイズを通して考えさせ、「相手のことを知り、相手のことを考えること」を伝える。) ・達人の夢や願い (動物との完璧なコミュニケーション。 子どもたちに動物を好きになってもらいたい。) 5 お礼のことば <ul style="list-style-type: none"> ・歌「世界が一つになるまで」をみんなで歌う。 		
児童生徒の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・動物がもっと好きになった。動物に囲まれた暮しがしたい。 ・クイズが楽しかった。 ・動物と会話がしたくなった。 ・動物のことをいろいろ知って、もっとうさぎと仲良くなりたと思った。 ・もっとうさぎのことを調べたいと思った。いろんなことがわかった。 ・夏に向けて、うさぎがばてないように早く日陰をつくってあげたい。 ・サルの顔はほとんど同じと思ったけど、人のように性格があるのだと知った。 ・達人の夢を聞いて、私も大きな夢をつくりたいと思った。 ・達人から教えてもらったことを生かして、うさぎを大切にまもりたい。 		
教師の感想	<p>前半はうさぎの飼育活動へのアドバイス、後半は、達人のお話を聞くという流れでよかったと思う。飼育の現場を見ながら、交流する場面をつくることができ、子どもたちは、活動をほめてもらったり、さらによいアドバイスをもらったりして活動への自信や意欲が湧いたと思う。後半は、視覚に訴える資料を多く用意してもらい、興味深くお話を聞くことができた。達人のことば一つ一つに動物たちへの温かな愛情があふれていた。今後、達人のお話の中で、動物と共に生きる心を感じさせる場面の工夫ができるとさらにおもしろいと感じた。クイズに合わせて、ロールプレイなどを取り入れ、楽しく体験的に実感させる手だてがあるとよいと思う。ただし、時間を考えると、今回の内容でいっぱいであった。</p> <p>今後も、出会いと感動のある授業をつくっていきたい。</p>		